

2015年6月24日(水)特別活動案

(1)テーマ

貿易ゲームをしよう！

(2)活動のねらい

世界の国々には資源的、技術的に格差がある。その格差を解消するために、国同士の協力が大切であることを学ぶ。

(3)準備物

はさみ 11 本、コンパス 2 本、定規 6 本、紙、紙幣（紙で作る）

(4)展開

時間	児童の活動	指導者の活動および指導上の留意点
15:10~15:15	<ul style="list-style-type: none"> ○あいさつ ○先進国、発展途上国について知る。 ○貿易ゲームの方法を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・決められた形のものを渡された道具を使って正確に作る。 ・できたら世界銀行に持っていきお金の換えてもらう。 ・終了時に合計金額を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●予め座席を移動し 4 つのグループに分けておく。 ●画用紙使って説明。 ●黒板に書いておく。
15:15~15:40	<ul style="list-style-type: none"> ○道具をもらいゲームスタート！ 	<ul style="list-style-type: none"> ●フリーハンドで書こうとしている班がいたら注意してあげてください。 はさみやコンパスの使い方が危険な児童がいないかの注意もお願いします。 ●開始 10 分くらいで道具や材料の貸し借り OK であることを伝える。
15:40~15:50	<ul style="list-style-type: none"> ○合計金額をそれぞれ発表する。 ○まとめとして、 <ul style="list-style-type: none"> 先進国のグループは紙(資源)が少なかった→発展途上国からもらった。 発展途上国のグループ道具(技術力)が少ない→先進国からもらった。 それぞれの国の得意分野、苦手分野がある。 それらをお互いに補うことで多くの国が平等に幸せに暮らせるということを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●できる限り児童との対話をしながらまとめる。 その際、挙手性は徹底する。

★貿易ゲームの詳細

- ・先進国のグループ …はさみ3本、コンパス1本、定規2本、紙3枚
発展途上国のグループ…はさみ1本、 定規1本、紙10枚 を配布。
- ・円、長方形、三角形の3種類をそれぞれ20,000円、10,000円、15,000円で世界銀行で売れることにする。
→大きさは指定しない。コンパス、定規でしっかりと線を引いて書くこと。
- ・ほかのグループとの道具の貸し借りOK! →あまり表に出さない。児童自身に考えさせる。
- ・世界銀行の係は学生をお願いします。正確に切れているかチェックしてください。

(5)振り返り

こちらが意図していた「グループ(国)間の協力」がうまく児童たちに伝わらなかったです。最初の説明をもう少し充実させ、ゲームの細かなルール設定を工夫することでそれは解決でき、もう少し有意義な活動になったと思います。また、導入の部分で子どもたちの対話をしながら進めるということができておらず一方的な説明になってしまったことが反省です。児童たちの良い意見はうまく拾い、児童の雑談も適切な受け答えができたらいなと思います。

勉強要素を取り入れつつ楽しいと思ってくれるような活動をしたと考えていました。考えお金を稼ぐという面に関してはとても児童たちが興味をもって熱心に活動してくれ、楽しかったと個人的に言って来てくれた児童もいたのでよかったです。